

# 学校図書館支援通信



177号

令和5年度 市川市教育センター

## 第七中

## 学校図書館 × タブレット



第七中学校にて、学校図書館と ICT を効果的に組み合わせた授業が行われました。その取り組みについてご紹介します。

特別支援学級（白樺学級）の生徒を対象に行われた本授業では、『ぞうのエルマー』（デビット・マッキー作）の読み聞かせを聞いた後、ワークシートに描かれた「ぞう」に好きな模様をつける活動が行われました。

Teams からファイルを立ち上げておき、事前の準備を整えた状態で授業が始まりました。

はじめは、学校司書による読み聞かせです。『ぞうのエルマー』を大型提示装置へ映しながら読み聞かせが行われました。きれいな「ぞう」の模様は、生徒はくぎ付けです。その間、担当教諭は生徒のタブレットの画面を確認することができました。

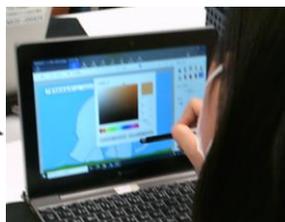


読み聞かせを終えると、いよいよ「ぞう」の模様を考える時間です。

あらかじめ Teams の投稿機能を使ってワークシートを共有しているので、全員が一斉にワークシートを確認することができました。今回は3D ペイントを使って色付けを行い、タッチペンも使用しました。



- ①「ペンキ」を使って、ぞう全体・背景・地面に色を付ける。
- ②「ブラシ」「2D 図形」「ステッカー」等を使って、自分の好きな模様や色を付ける。



ペンキは罫線で区切られた範囲に一度に色が付けられるので、「ぞう」の絵がぱっと明るくなり、さらに生徒の関心が高まりました。細かな模様は、図形をはめ込んだり手書きで書き込んだりすることで、自分のイメージを膨らませることができました。

今回仕上げたものは一度保存し、次回ミライシードのオクリンクを使って鑑賞し合うための準備を整えて授業終了です。

今後、生徒が『ぞうのエルマー』の本と再び出会うことがあれば、本とともに、きっと自分や友達の色鮮やかな「ぞう」を思い出すことでしょう。

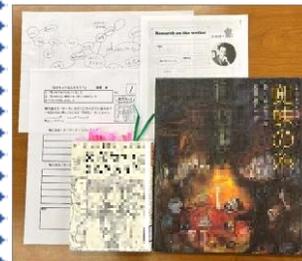


## “新しい出会い”の連続

特別支援学級・若木ゆめ学級には、週に1時間「図書の時間」があります。昨年度は、毎週「コーレデコット賞受賞作品」を読み、テーマ探しのディスカッションを楽しみました。

今年度は「異なる読み方」に挑戦しています。

- ・1週目…時候に合った「絵本」を味わい、その後感想交流をします。
- ・2週目…「文豪調べ」ポプラディア、文学事典、タブレットを使い自由に取り組み、まとめのワークシートに文豪の似顔絵を貼って完成。
- ・3週目…その日の絵本について「マインドマップ」で整理します。主人公の環境、おはなしの疑問点やキーポイントなどマップにしていくと、意外なことがわかります。
- ・4週目…齋藤孝著『友だちってなんだろう？』を付箋を貼りながら音読しています。心に残った言葉や文章をワークシートに残します。1年かけて読み終える長い読書です。



ワークシートを利用して



付箋読み

生徒からは『読み方の違いによって「読書」のイメージがどんどん変わります。』との感想が出ました。今週もどんな出会いが待っているのか楽しみな「図書の時間」です。

市川市立高谷中学校 学校司書 北井 恵子

## ネットワーク配送便



図書貸借システム（ネットワーク配送便）は、全国に先駆けて、市川市が開始したシステムです。平成5年度より試験的に開始し、本年度で31年目となります。

今年度も、市内各学校・中央図書館相互のネットワークによる多くの活用が見られ、授業等で児童生徒が幅広く図書資料に触れていることが伺えます。積極的なご活用、ありがとうございます。

令和5年度（前期：4～9月）

配送数	12,879冊（一回平均460冊）
配送時間（一日平均）	5時間56分

このシステムを支えているのは、中央図書館の司書及び各学校の学校司書の方々です。各学校の図書システムからは、市内全学校の蔵書検索を行うことができますので、学校司書との連携を図り、市川市全体を大きな図書館として更なる活用をしていただければと思います。

『学校図書館支援通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市教育センター

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>